

赤坂プレスセンター

【所在地・面積】 港区六本木7丁目 26,938㎡(国有地)
【用途】 事務所(星条旗新聞社、宿舍、ヘリポート)
【管理部隊】 在日米陸軍基地管理本部

沿革

明治22(1889)年1月
旧陸軍第一師団歩兵第三連隊駐屯地設置

昭和20(1945)年9月22日
米軍が接収

昭和58(1983)年5月19日
日米合同委員会において都市計画街路環状三号線の道路用地(約3,900㎡)について都との共同使用及び代替措置として工事期間中の臨時ヘリポート用地(約4,300㎡)を追加提供することを合意

昭和58(1983)年8月12日
都、東京防衛施設局、在日米軍の三者間で工事期間中の臨時ヘリポートの整備と、工事終了後、元のヘリポートを原状回復することとした「在日米軍施設及び区域の共同使用に関する協定」を締結

平成5(1993)年3月29日
環状三号線工事の完了、供用開始

平成5(1993)年6月3日
日米合同委員会において陸上自衛隊によるヘリポートの共同使用について合意

平成13(2001)年9月1日
都が総合防災訓練の会場として初めて使用

平成19(2007)年4月23日
日米合同委員会において臨時ヘリポート用地の代替地として一部土地(約4,700㎡)の返還合意
都と在日米陸軍は緊急時におけるヘリポートの共同使用に係る協定を締結

平成20(2008)年4月
都が救急患者を島しょ地域から都心の医療機関への搬送の中継拠点として使用を開始

平成20(2008)年11月10日
都と在日米陸軍は、災害時におけるヘリポートの立入りに係る協定を締結

平成23(2011)年7月29日
日米合同委員会合意に基づき代替地として一部土地(約4,700㎡)が返還

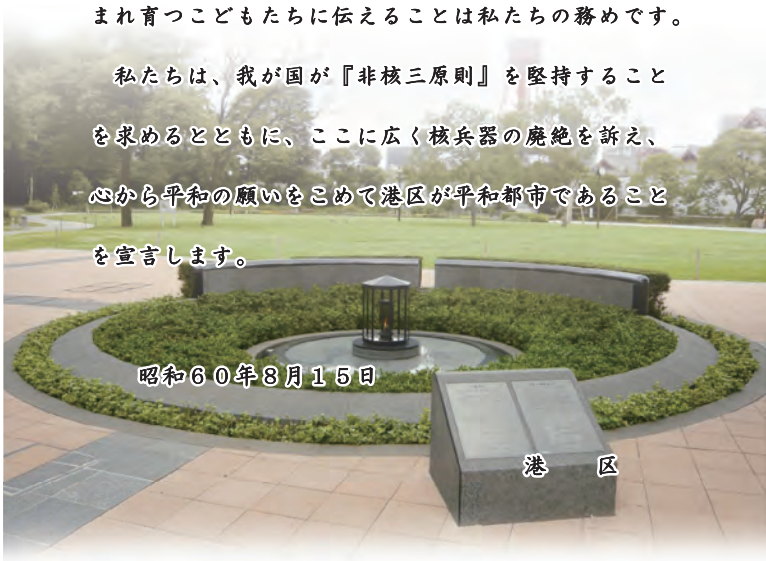
港区平和都市宣言

かけがえのない美しい地球を守り、世界の恒久平和を願う人びとの心は一つであり、いつまでも変わることはありません。

私たちが真の平和を望みながら、文化や伝統を守り、生きがいに満ちたまちづくりに努めています。

このふれあいのある郷土、美しい大地をこれから生まれ育つこどもたちに伝えることは私たちの務めです。

私たちは、我が国が『非核三原則』を堅持すること
を求めるとともに、ここに広く核兵器の廃絶を訴え、
心から平和の願いをこめて港区が平和都市であること
を宣言します。



平和の灯(区立芝公園)

発行番号: 2024241-6421

港区の米軍基地

平成30(2018)年3月 初版発行
令和7(2025)年3月 改訂

発行 港区総務部人権・男女平等参画担当
港区芝公園一丁目5番25号
電話 03-3578-2111(代表)

港区の米軍基地

港区には、2か所の米軍基地(赤坂プレスセンター及びニューサンノー米軍センター)があり、赤坂プレスセンターにはヘリポートが設置されています。

このリーフレットは、区民の皆さんに基地の概要とヘリポート基地があることによる区の実施を知っていただくために作成しました。

赤坂プレスセンター (Akasaka Press Center)



(麻布米軍ヘリ基地撤去実行委員会提供)

旧日本陸軍駐屯地。
現在は、米軍ヘリポート、星条旗新聞社、独身将校宿舍、ガレージとして使用されています。
都立青山公園に隣接しています。

ニューサンノー米軍センター (New Sanno U.S.Forces Center)



(東京都HPから転載)

山王ホテル士官宿舎の代替施設として、昭和58(1983)年に米軍に提供され、会議及び宿泊施設として使用されています。日米地位協定等について、日米間で協議を行う日米合同委員会は、この施設で開催されています。

赤坂プレスセンターと ニューサンノー米軍センターの位置



赤坂プレスセンターの現状と区の取組

代替地返還

- ◆昭和58(1983)年に日米合同委員会で合意された環状三号線の道路用地の共同使用と臨時ヘリポート用地の追加提供が合意され、翌昭和59(1984)年に臨時ヘリポートが完成しました。
- ◆平成5(1993)年の環状三号線工事完了後においては、臨時ヘリポートは、日米合同委員会の合意により、陸上自衛隊に共同使用されていました。
- ◆平成19(2007)年に日米合同委員会で、臨時ヘリポート用地の代替地として一部の土地の返還が合意され、東京都と在日米陸軍は緊急時使用に係る協定を締結しました。
- ◆平成23(2011)年に臨時ヘリポート用地の代替地として一部土地が日本に返還されました。

騒音調査

- ◆平成20(2008)年10月、臨時ヘリポートを使用している米軍ヘリコプターによる騒音等の実態把握のため、基地周辺の町会・自治会にアンケート調査を実施しました。
調査結果：米軍ヘリの音をうるさく感じる…88%
(しょっちゅう、時々)
- ◆平成21(2009)年2月、臨時ヘリポートを使用している米軍ヘリコプターによる騒音発生状況等の実態把握のため、騒音測定調査を実施しました。
調査結果：「小規模飛行場環境保全暫定指針値」及び「航空機騒音に係る環境基準」を準用し適合
- ◆平成27(2015)年3月、小学校等への騒音等の影響・実態を把握するため、基地周辺の小学校・保育園等に聴き取り調査を実施しました。
調査結果：ほとんどの施設…「音は気になるが保育・授業に差し障るほどでない」、
「気になるほどでもなく保育・授業できる」と回答
一部施設…「時々うるさく感じる」、「特定の教室で授業に差し障ることが時々ある」と回答
- ◆令和2(2020)年9月、羽田空港の新飛行経路の運用に伴い、新飛行経路に近接する臨時ヘリポートの飛行状況及び騒音状況の変化を把握するため、騒音測定調査を実施しました。
調査結果：「航空機騒音に係る環境基準」を準用し適合。
- ◆令和3(2021)年6月、前年に引き続き、騒音測定調査を実施しました。
調査結果：「航空機騒音に係る環境基準」を準用し適合。

要請行動

- 区は…平成3(1991)年から、渉外知事会(米軍基地が所在する15都道府県で構成される)を通して、基地の早期返還を国に要望しています。平成8(1996)年には、東京都を訪問し、米軍ヘリポート撤去、臨時ヘリポートの原状回復を要請しました。以降、基地の早期返還、米軍ヘリポート撤去、臨時ヘリポートの原状回復について、米国大使館、防衛省、東京都へ要請してきました。
- 区議会は…昭和42(1967)年に「米軍ヘリポート撤去方に関する意見書」を採択し、防衛施設庁(現：防衛省)に要請しました。以降、基地の撤去・返還、騒音に関する意見書を米国大使館、防衛省、東京都あてに提出してきました。
- 区と区議会は…平成16(2004)年8月に発生した沖縄県宜野湾市の沖縄国際大学構内への米海兵隊の大型輸送ヘリコプター墜落事故を契機に、区は区議会とともに、区民の安全で快適な生活を守るため、ヘリポート基地の早期撤去に向けた要請を継続して行っています。

◆これまでの要請行動(過去5年間)

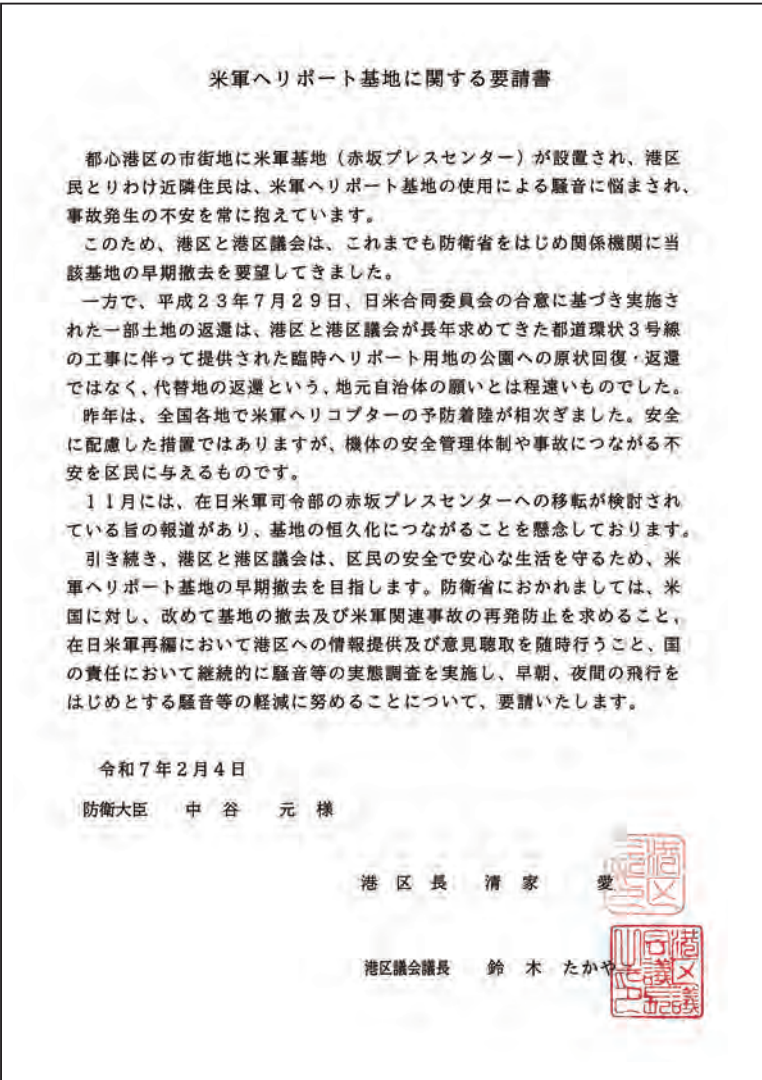
令和3(2021)年2月4日 防衛省・東京都に訪問	[内容] 事故・事件に対する不安、早期撤去、事故の再発防止、区の調査も踏まえた国の責任での継続的騒音調査の実施、早朝夜間等飛行騒音の軽減
令和4(2022)年2月8日 防衛省・東京都に訪問	[内容] 事故・事件に対する不安、早期撤去、事故の再発防止、区の調査も踏まえた国の責任での継続的騒音調査の実施、早朝夜間等飛行騒音の軽減
令和5(2023)年2月7日 防衛省・東京都に訪問	[内容] 事故・事件に対する不安、早期撤去、事故の再発防止、区の調査も踏まえた国の責任での継続的騒音調査の実施、早朝夜間等飛行騒音の軽減
令和6(2024)年2月5日 防衛省・東京都に訪問	[内容] 事故・事件に対する不安、早期撤去、事故の再発防止、区の調査も踏まえた国の責任での継続的騒音調査の実施、早朝夜間等飛行騒音の軽減
令和7(2025)年2月4日 防衛省・東京都に訪問	[内容] 事故・事件に対する不安、早期撤去、事故の再発防止、区の調査も踏まえた国の責任での継続的騒音調査の実施、早朝夜間等飛行騒音の軽減、在日米軍再編における随時の情報提供・意見聴取、基地の設置基準・米軍ヘリコプターの運用基準の情報提供

過去の要請文は、港区公式ホームページでご覧いただけます。



←港区ホームページQR

- ◆静穏を必要とする地元行事等の調査
毎年四半期毎に北関東防衛局企画部地方調整課からの照会を受け、地元行事等への配慮を要請しています。



(防衛大臣宛要請書)



要請行動時の様子(令和6年度、防衛省)

ニューサンノー米軍センター

- 【所在地・面積】 港区南麻布 7,243㎡(私有地)
- 【用途】 その他(宿泊施設)
- 【管理部隊】 在日米海軍横須賀基地
- 【沿革】 昭和58(1983)年6月 施設完成

区に寄せられた米軍基地に関するご意見

Q1 なぜ、港区はヘリポート基地の撤去を要請しているのでしょうか。

- A1 基地があることで区民、特に近隣にお住まいの方は、ヘリコプターの離発着に伴う騒音や臭気等に悩まされています。また、事故発生の不安も抱えています。区民の安全・安心を守るため早期撤去を要請しています。

Q2 ヘリポートの近所に住んでいます。米軍の施設なのかどうかも不明ですが、返還期限は過ぎているはずですが、区はどのような返還活動をしているのでしょうか。

- A2 都立青山公園の中にある赤坂プレスセンターには米軍ヘリポートが併設されています。環状三号線整備に伴い提供された臨時ヘリポート用地は返還されず、代替地が平成23(2011)年に返還されました。区は、区議会とともに、基地の撤去を要請しています。平成25(2013)年、平成26(2014)、令和5(2023)年、令和6(2024)年、令和7(2025)年には近隣町会代表も同行し、地域の実情を訴えました。

Q3 東京都は緊急時や防災訓練等でヘリポートを使用しています。区も防災訓練等で使用し、災害時等に備えた方が良くないのでしょうか。

- A3 人命救助や緊急時に備えて、東京都が救急搬送や防災訓練等で使用することがありますが、一時的な使用が基地の機能の拡大や恒久化につながることをないように要請しています。

令和7年4月24日

麻布管内各町会・自治会長 様

港区麻布地区総合支所
協働推進課長 池 端 隼 人

令和7年度「港区総合防災訓練（麻布会場）」の開催予定日程等について（通知）

日頃から、港区の防災事業にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。

令和7年度の港区総合防災訓練（麻布会場）を下記のとおり開催する予定です。

大震災から自らの生命と自分たちのまちを守るため、貴町会・自治会及び貴防災会におかれましては、積極的にご参加いただきますようお願いいたします。

記

- 1 日 時 令和7年10月19日（日）
午前9時30分～午前11時30分（予定）
- 2 場 所 港区立六本木中学校（住所：港区六本木六丁目8－16）



- 3 そ の 他 参加確認のご案内や訓練内容等は後日改めてお知らせします。

【問合せ】

港区麻布地区総合支所 協働推進課 協働推進係
担当：雑賀・本間・山田・若松・窪田・塩見・熊澤
TEL：5 1 1 4－8 8 0 2
FAX：3 5 8 3－3 7 8 2

令和7年度 地域福祉活動・ボランティア活動

パワーアップ塾

あなたの活動のきっかけをつくろう！



地域福祉の基本を学ぶ「必須プログラム」と、子どもや障害、災害等のさまざまな分野の講座から自分に合ったものを選ぶ「選択プログラム」で、一人ひとりに合ったボランティア活動・地域活動のスタートを後押しします。一緒に学び、地域の活動に踏み出す仲間づくりも応援します！

親子参加も
大歓迎！

★必須プログラム★

はじめの会～オリエンテーション～

日時	内容	会場
5月18日(日) 10時～16時	○パワーアップ塾の受講方法や講座内容についての説明 ○これまでの受講者によるボランティア活動等の紹介 ○港区の地域資源をめぐるまち歩き	高輪区民協働 スペース (高輪1-5-38)

あいだの会～中間報告～

7月13日(日) 14時～16時	○参加者同士の情報交換・意見交換など ○これまでの学びの確認と今後の抱負について	麻布地区総合支所 2階第3会議室 (六本木5-16-45)
---------------------	---	-------------------------------------

まとめの会～振り返りと活動に向けて～

10月5日(日) 10時～正午	○パワーアップ塾の振り返り・情報交換 ○今後の目標や抱負等の意見交換	麻布地区総合支所 2階第3会議室 (六本木5-16-45)
--------------------	---------------------------------------	-------------------------------------

- ◆対象者：港区在住・在勤・在学で、港区で活動したいと思っている人
- ◆参加費：無料(選択プログラムにより資料代などがかかる場合があります)
- ◆申し込み：5月12日(月)までに、申し込みフォーム・電話・FAXで、住所・氏名・電話番号・メールアドレス(お持ちの場合)を明記の上、申し込み
- ◆問い合わせ：ボランティア・地域活動支援係(みなとボランティアセンター)
TEL:6230-0284 FAX:6230-0285

申し込みフォーム



※裏面の選択プログラムからも1つ以上ご参加ください

★選択プログラム（予定）★

ボランティア入門講座	ボランティアの「いろは」を学ぶ講座です。先輩ボランティアの話を聞いたり簡単な体験も行います。
ボランティアスキルアップ講座 「やさしい日本語について」	障害特性や国籍、文化等が異なる人たちへの理解を深めるために必要なことを学びます。
オリジナル講座① 「ボランティア団体の活動を知ろう！体験してみよう！」	港区内で活躍しているボランティア団体(4～5団体を予定)をゲストに、活動の紹介やプチ体験、交流をはかります。
オリジナル講座②③④	②民生委員からみた港区について ③参加者の要望に応じて企画する講座 ④障害のある人の話や支援等の体験をする講座
スマホ・タブレット マイスター 養成講座	地域の高齢者等へ、スマホやタブレットの使い方を教える人を養成します。講座受講後、ボランティアとして活動できる方が対象です。
サロンづくり方講座	自分の住む地域で、住民と集まる活動を始めたい人が、居場所(サロン)の作り方について学びます。すでに活動しているサロンでの体験も行います。全4回。
おむすびサービス研修会	高齢者や障害者などの支援を行う「おむすびサービス」の事業説明と、活動に役立つ研修会・交流会を行います。
ボランティア活動体験プログラム 2025夏！体験ボランティア	福祉施設やボランティア団体での活動を体験します。複数のプログラムの中から選ぶことができます。
パラスポーツメイト 養成講座	誰もが一緒にスポーツを楽しむことができるよう、講義やパラスポーツ体験をととしてパラスポーツをする人を支えるメイト(仲間)を養成します。
災害に備えたまち歩き講座	まち歩きを通して、災害時の「気になること」「役に立つこと」を見つけ、いざとうときの『地域のつながり』について考えます。
災害ボランティア基礎講座	災害時のボランティア活動についての基礎を学びます。
区民後見人説明会	地域における身近な立場で成年後見活動を行う『区民後見人』として活動したい人へ、基礎講習受講についての説明を行います。

パワーアップ塾 参加申込み ※FAXはご記入の上、切らずにこのまま送信ください。

名前	ふりがな	
連絡先	住所	
	TEL	メール

ご参加、
お待ちしております
おります♪



※申し込み時にいただいた個人情報は、本会個人情報保護規定に基づき、適切に取り扱い、本事業の実施にのみ使用いたします。

令和7年4月吉日

町会長・自治会長 様

港区長 清 家 愛

(公印省略)

「緑の募金」運動ご協力のお願い

謹啓 陽春の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃から、区の緑化推進事業につきましては、格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

本年も東京緑化推進委員会の要請により「緑の募金」運動を実施しております。

つきましては、まちづくり課窓口において募金を受付けていますので、ぜひご協力を賜りますようお願い申し上げます。お越しの際は、事前にご連絡いただけますと幸いです。

※部数に不足があった場合は、下記問合せ先にご連絡ください。

問合せ先
麻布地区総合支所まちづくり課
まちづくり係 吉田
〒106-8515 港区六本木 5-16-45
TEL:03(6441)0432